

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道400号 <small>おおたわらしなすの</small> 大田原西那須野バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	栃木県
起終点	自：栃木県大田原市美原町（赤田） 至：栃木県那須郡西那須野町太夫塚		延長	(7.7) 5.0 km		
事業概要	<p>一般国道400号は、茨城県水戸市から福島県耶麻郡西会津町に至る、延長約118kmの主要道路であるほか、本県の北部地域を横断して福島県会津地域に至る産業・経済活動を支える重要な路線である。大田原西那須野バイパスは、現道の渋滞の解消と東北縦貫自動車道西那須野塩原ICとのアクセス強化を図ることを目的としたJR宇都宮線及び東北新幹線との立体交差を含む延長5.0kmの4車線道路である。</p>					
H1年度事業化	S62年度都市計画決定	H2年度用地着手	H7年度工事着手			
全体事業費	(120) 約130億円	事業進捗率	(47) 73%	供用済延長	3.2km	
計画交通量	22,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 7.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 51/161億円 (事業費：39/147億円) 維持管理費：12/14億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 384/384億円 (走行時間短縮便益：323/323億円) (走行費用減少便益：41/41億円) (交通事故減少便益：20/20億円)	基準年：平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの向上（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: center;">他16項目に該当(定量的評価項目を含む)</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>大田原西那須野バイパスは、交通渋滞の緩和、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、大田原市、西那須野町をはじめとする関係2市10町3村の首町で構成される「喜多方湯津上間国道昇格整備促進期成同盟会」より早期整備の要望(平成15年10月30日)を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	市街地の活性化により、現道における交通渋滞はますます深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに3.2kmを供用し、残る区間も国道4号までの用地取得をほぼ完了し、来年度よりJR跨線橋に着手する予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る区間の工事を推進し、早期供用を目指す。					
対応方針	事業継続（一部休止）					
対応方針決定の理由	大田原西那須野BPが国道4号と接続することにより、大田原市・西那須野町の渋滞の解消が見込まれるため一部休止とする。					
事業概要図	<p>The map shows the project route from Ohtawara (大田原市) to Sinagawa (西那須野町). Key features include: <ul style="list-style-type: none"> Red dashed line: Section to be re-evaluated (再評価箇所), length 1.8km. Red solid line: Section already in use (うち供用中), length 5.0km. Black solid line: Section to be discontinued (休止区間), length 2.7km. Total project length: 7.7km. Other landmarks: JR high-voltage bridge, Hamon Hall, and various local roads. </p>					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。